

平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

鳥取県

行事名称	第62回文化財防火デー 重要文化財不動院岩屋堂消防演習
実施期間・日時	平成28年1月24日(日) 9:00~9:30
実施場所	重要文化財不動院岩屋堂周辺(鳥取県八頭郡若桜町岩屋堂)
主催者	鳥取県東部広域行政管理組合 八頭消防署若桜出張所

■実施内容

訓練の想定

たき火が重要文化財不動院岩屋堂に飛び火し、堂内から出火したと想定し、消火訓練を実施。

訓練の内容

岩屋堂から出火→自火報鳴動→火災発見、消防局へ119番通報→消防局から町役場に連絡・役場宿直が防災無線及びサイレン鳴動→消防署・消防団出動・到着→消火活動→鎮火→講評

※訓練実施については事前に町防災無線及び消防署車両で広報。

参加者及び役割分担

岩屋堂自治会・自警団	10名：火災発見、119番通報、放水訓練
八頭消防署 若桜出張所	6名：全体統括、放水訓練、講評
若桜町消防団 第3・4分団	28名：放水訓練、交通整理
鳥取県文化財保護指導委員	1名：現場立会
若桜町総務課	2名：町防災無線放送、サイレン鳴動、現場立会
若桜町教育委員会	1名：現場立会

特に工夫した点

放水は建造物方向には行わず、発煙筒による火点を別の場所に設定して行った。

放水に使用する水は消火栓ではなく、前を流れる吉川 川を利用した。

問題点・課題

迅速な消火活動の実施。高齢化の進む自警団組織の維持。

その他

普段より建造物内に自火報及び消火器を設置し、文化財の防火に努めている。

今後は消防署、町消防団、集落自警団の連携をさらに緊密にし、火災から文化財建造物を守る体制を確立する。

訓練風景

